

オウム対策住民協議会ニュース

烏山地域
オウム真理教対策
住民協議会

観察処分期間更新を目指す署名活動大詰めに!! 目標達成には12000筆足りず、皆さんのご協力を!

4月より始めた、オウム真理教後継団体ひかりの輪・アレフの活動規制を継続させるための、観察処分期間更新の署名活動は、世田谷区内くまなく協力の輪が行き渡り、着々と署名用紙が集約されています。これも世田谷区町会・自治会総連合会をはじめとして、各種団体の皆様のご支援の賜物と感謝しております。さらに区内住民の方々からの署名用紙も着々と届いています。

観察処分期間更新には 目標達成が絶対条件

しかし8月31日に署名を集計したところ、40000筆の目標に対し、約12000筆不足していることが判明しました。烏山地域の住民の皆さまに訴えます。9月末日が最終集計日となっており、時間がありません。あと20日間のがんばりで観察処分期間更新の成否が決定します。3000名の方が4人に署名をたのんでいただければ目標は達成出来ます。最後の力をお貸しください。署名用紙は住民協議会にありますのでご連絡ください。観

察処分期間更新を審査するのは公安審査委員会です。その審査で問われるのは、オウム真理教後継団体施設の周辺住民が「オウム真理教はいやだ」との思いを、どれだけ大きく強く示すことが出来るかに掛かっています。住民一人一人が、公安審査委員会に直接訴えることは不可能ですが、署名は住民個々の意志を表します。さらにその筆数も重要なパロメーターです。これまで5回にわたり観察処分期間更新を勝ち取り、烏山地域の安全安心を守ってきました。今回、もしオウム真理教の後継団体、ひかりの輪・アレフに対する観察処分が解除されればどのような状況になるか、賢明な読者の方には容易に想像がつくと思います。

ひかりの輪の悲願は、 観察処分からの解除にある!!

烏山地域に居住する上祐派ひかりの輪は結成10年となるが、その主たる目的は「宗教活動」でなく、観察処分指定団体からの解除であることは、この10年間の活動からも明らか

となりました。そのことを如実に物語るのが、ひかりの輪内部に設置した外部監査委員会です。ひかりの輪を外から監査するとし、松本サリン事件で冤罪とされた河野義行氏を、外部監査委員会の委員長に担ぎ上げました。上祐史浩の目論みは、河野氏の知名度を利用し、ひかりの輪を世間に認知された団体とアピールするためでした。ところが河野氏が自身の思いで、たった3年間で辞任してしまいました。ひかりの輪は慌てて後任を探したが、社会的に認められた人が、ひかりの輪に容易に協力する筈もなく、辞任以来2年が経過するが、委員長は依然不在です。ひかりの輪としても想定外で、これまで

も見ろべき成果はありません。他の活動も、観察処分解除に向けての内容が透けて見え、こんな団体が観察処分から解除されれば、さらに悪知恵を發揮し、以前のオウム真理教のように、ごく普通の青年が洗脳され、社会的信用を失墜させられることとなりかねません。

住民の皆さんに訴えます。オウム真理教後継団体、ひかりの輪・アレフは「いやだ」との思いを多くの人に伝え、やがてその輪が大きく拡がることを期待します。

訃報

住民協議会の副実行委員長の石川 稔氏が、7月21日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

募金・署名へのご協力ありがとうございました。

- 第8回からすやま下町まつり 募金8,056円・署名160筆
- 第13回千駄山ふれあい祭り 募金2,621円・署名45筆
- 新樹苑盆踊り大会 募金19,116円・署名59筆
- からすやま夏まつり 募金17,283円・署名160筆
- 街頭署名活動 署名70筆
- 夏休み親と子の映画会 募金570円
- 芦花公園駅前盆踊り大会 募金1,200円
- 給田納涼盆踊り大会 募金19,865円・署名101筆

第35回 抗議デモ・学習会

11月11日(土) ●抗議デモ 午後1:30集合 1:50出発 烏山区民センター前広場
●学習会 午後2:30開会 烏山区民センターホール

講演

「地下鉄サリン事件の被害は続いている」 一被害者・被害者家族へのアンケート調査から見えること一

講師は、悲嘆や惨事ストレスの研究者であるが、地下鉄サリン事件被害対策弁護団からの依頼を受け、2014年に同事件の被害者や遺族に対する調査を行った(有効回答317名)サリンの直接的な後遺症だけでなく、周囲の対応がストレスを悪化させていること等が明らかになった。科学兵器テロの被害が20年も続いている現状を報告し、その残酷さを説明する。

講師：松井 豊氏

(筑波大学大学院人間総合科学研究科教授)

略歴：

1954年3月24日生まれ 63歳
1985年3月 東京都立大学人文科学部人間科学研究科博士課程修了
1989年7月 文学博士(東京都立大学)取得
国立大学法人筑波大学大学院人間総合科学研究科教授
日本心理学会東日本大震災復興支援特別委員会委員長
東京消防庁惨事ストレス対策に関する専門指導員
総務省消防庁 緊急時メンタルサポートチーム 委員
南関東居住者の東日本大震災への基金に及ぼす共感の影響 心理学研究
東日本大震災で被災した自治体職員の高ストレス反応 ストレス科学研究

観察処分期間更新の街頭署名 区民センター広場前で大きな反響

7月16日午後4時より、烏山区民センター広場前に於いて、観察処分期間更新の署名活動を行った。烏山総合支所、危機管理室からも応援に駆けつけ、住民協議会会員も含め総勢7名となった。梅雨明け間近を思わせる晴天が続く日曜日の午後ということで、街を行き交う人も少なく、署名は集まるかなど不安もあったが、次から次へと賛同者は途切れることはなかった。そんな時は自然に訴えにも力が入り、立ち止まる人も増え、暑さも吹き飛び、オウム真理教の後継団体ひかりの輪・アレフの危険性、観察処分の期間更新がなぜ必要かなどを訴え続けることが出来た。二人のお孫さんを連れた女性に協力してもらったが、そのお孫さんの「オウムって何？」との問いに「たくさんの人を殺した、オウム真理教という宗教団体の信者が、17年前から烏山に住んでいるんだよ」「そんな危険な団体はなくなってほしいから活動をしている」と説明。だがどこまで分かったのか、最後まで烏のオウムと勘違いしていたようだ。それでも署名はしっかり書いてもらった。署名に協力的な人からは、地域に信者がいることを一応に

不安視する声が聞かれた。約1時間の活動であったが、70筆の署名が寄せられ、しかも年齢層が偏ることなく関心の高さを示していた。9月にもう一度街頭署名をやろうとの声も出ていた。



札幌にアレフの大型施設・視察団報告

北海道・札幌に大型アレフ施設が出来て、去年までに130人の新規信者が確認されている。しかし行政も住民もオウム問題に無関心で、反対運動さえ、行われていないという。

今回、札幌のアレフ施設への視察を足立区の住民協議会から参加依頼があり、烏山地域住民協議会から2名が参加をした。足立入谷地域住民協議会からは水上会長はじめ区の職員で5名。他に被害者の会代表の高橋シズエ氏と弁護士の中村裕二氏。

札幌・白石施設は新札幌駅から6kmの所で、国道沿いにある。建物は水色で鉄筋3階建てのようだが、地下に駐車場があり、実質4階建て。1階部分では80畳の道場。2階部分は2つの道場がある。これは300人以上が修行できる規模と思われる。3階部分には幹部の部屋などが用意されているのだろう。総面積1205平方メートル。道路を挟んで向かい側には大型ドラッグストアがあり、車のディーラー、外食店舗が並ぶ。

アレフ施設の直ぐ近くに東白石まちづくりセンターがあり、そこに当該の町会長以下、8名が集まっていて、話し合いになった。

ここの町会の世帯は250軒で、札幌市に相談しても特に返事はない。周りの町会や連合会と連携して一緒にやっていくしかない。今は足立区が持って行った署名用紙で署名活動に協力したいとの事。町会自体が小さいのである。町会長の苦悩が見て取れる。世田谷区や足立区のように行政の協力なしには反対運動は進まない現実がある。また、今回参加した施設周辺の方は、東京の不動産会社から電話があり、所持しているアパートを売って

ほしい。言い値で現金で買うという。そんなおいしい話は今迄全くなかったので、アレフ施設と関係があると思い断ったという。施設周辺に在家信者を入れるためのアパート探しをしている様子もうかがえる。この日、市側から参加したのはまちづくりセンター所長だけだった。

北海道には300名のオウム真理教(アレフ)信者がいる。全国の2割にあたる。それぞれの支部で信者獲得を競って、北海道は7年連続全国最多であったそうだ。

翌日の読売新聞に札幌市に取材した記事が出ていた。「オウム真理教とアレフを同一視していいか明確ではない中、自治体としてできることはない」と話したという。



住民協議会活動報告

7月16日(日) 街頭署名活動
7月21日(金) 実行委員会
7月22日(土) 千駄山ふれあい祭りで署名募金活動
7月27日(木) 夏休み親と子の映画会で募金活動
7月28・29日(金・土) 札幌市アレフ施設視察
7月29日(土) 新樹苑盆踊り大会で署名募金活動
8月1日(火) 事務局会議
8月2日(水) 芦花公園駅前盆踊り大会で署名募金活動

8月3～5日(木～土) 烏山夏まつりで署名募金活動
8月9・10日(水・木) 給田納涼盆踊り大会で署名募金活動
8月23日(水) 実行委員会
8月25・26日(金・土) お笑い夏まつり17で署名募金活動
8月26日(土) 親和会親子夕涼み会で署名募金活動
8月27日(日) 親子木工まつりで署名募金活動
8月28日(月) 編集会議 協議会ニュース168号初校正
9月4日(月) 編集会議 協議会ニュース168号再校正
9月12日(火) 協議会ニュース168号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。